平成２７年度交通事業の概要

本市交通事業は、市民に身近な公共交通機関として重要な役割を果たしてきておりますが、交通手段の多様化や少子高齢化の進行、民間バス事業者との競争激化など、交通事業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いております。

平成２７年度につきましては、前年度と比較して、電車利用者が増となったものの、路線バス及び観光・貸切バス利用者が引き続き減少するなど、経営状況についても厳しい状況が続いております。

このような状況の中、平成２７年度の事業運営に当たりましては、交通事業の基本である安全輸送の確保と親切・丁寧な乗客サービスの提供を図るとともに、経営健全化計画に基づき、増収対策や事業の効率化による経費削減などに積極的に取り組んでまいりました。

その主要施策等は、次のとおりです。

交通局施設のリニューアルにつきましては、整備及び移転事業に着実に取り組み、新局舎・電車施設を５月に、バス施設を１０月に供用開始いたしました。

軌道事業につきましては、谷山方面～新市立病院・鹿児島中央駅方面の利用者増に対応するため、朝・夕に直通便を増便したほか、２系統の平日昼間帯の運行間隔の見直しや低床電車の運行体系の見直しを行い、乗客サービスの向上を図りました。

また、観光レトロ電車「かごでん」の利用促進を図るため、金曜日や祝日前日などの平日運行を開始したほか、引き続き貸切電車の利用促進に努めました。

このほか、安全運行を確保するため、ドライブレコーダーを全車両に整備いたしました。

自動車運送事業につきましては、６路線について統廃合や運行経路の延長などを行ったほか、１９路線について運行本数の見直しを行い、乗客サービスの向上や運行の効率化を図りました。

また、北営業所及び桜島営業所管内の路線に係る管理の受委託を引き続き行うとともに、評価委員会において、委託業務の実施状況等について検証、評価並びに更新の妥当性について検討を行い、評価報告書をとりまとめました。

このほか、低公害低床型バス（大型１０両）を購入したほか、安全運行を確保するため、ドライブレコーダーを路線バス３０両に設置するとともに、バス停留所上屋（２か所）を整備いたしました。

軌道事業及び自動車運送事業共通の取組につきましては、引き続き接客マナーの向上を図るため、職員を対象に外部講師による接遇研修を実施いたしました。

また、「交通局ふれあい推進事業」として、リニューアルオープンした資料展示室や電車整備工場などの施設見学及び小学生を対象とした市電・市バスのお仕事体験や運転体験を実施するとともに、新施設のオープンを記念した「～祝！新施設オープン～2015市電・市バスゆーゆーフェスタ」を開催いたしました。

さらに、夏休み期間中の利用促進を図るため、市外の小中学生に対し、各教育委員会を通じて一日乗車券や夏休みチャレンジパスのＰＲを行ったほか、オリジナルグッズを製作し、本市で開催されたＬＲＴ都市サミットや国民文化祭など、県内外から多数の来場者が訪れるイベント会場で販売いたしました。

このほか、移転を記念した「交通局リニューアルキャンペーン」などを実施し、広告料収入の増収及びＰＲに努めました。

交通局移転後の跡地については、西側用地を３月に売却するとともに、電車通り側用地は、跡地購入事業者選定委員会が選定した優秀事業者２者のうちから、価格提案書をもとに優先交渉権者を決定いたしました。

このほか、一部施設の解体工事を実施するとともに、地下水水質調査業務などを実施いたしました。